

# デラビタ・ミックス

家畜・家禽のビタミン・ミネラルの補給に！



## 〔有効成分及び含量並びに賦形物質等の名称〕

有効成分名	含量 (1kg中)
ビタミンA油	350万IU
ビタミンD <sub>3</sub> 油	70万IU
酢酸dl-α-トコフェノール	500mg
メナジオン亜硫酸水素ナトリウム	500mg
硫酸チアミン	500mg
リボフラビン	1,000mg
塩酸ピリドキシン	500mg
シアノコバラミン	1mg
ニコチン酸アミド	1,000mg
パントテン酸カルシウム	1,000mg
葉酸	100mg
塩化コリン	35,000mg
硫酸鉄 (乾燥) FeSO <sub>4</sub>	5,000mg (Feとして1,535mg)
硫酸銅 (乾燥) CuSO <sub>4</sub>	2,000mg (Cuとして700mg)

## 有効成分名

## 含量 (1kg中)

炭酸亜鉛 (Zn)	5,700mg
炭酸マンガン (Mn)	6,300mg
硫酸コバルト (乾燥) CoSO <sub>4</sub>	30.3mg (Coとして10mg)
ヨウ素酸カルシウム	100mg (Iとして63mg)
賦形物質：米ぬか油粕、無水ケイ酸	

## 〔用いる事ができる飼料の種類及び量〕

鶏用飼料：0.1%~0.2%  
 豚用飼料：種豚及び仔豚0.2%、肥育豚0.1%  
 牛用飼料：0.1%~0.2%  
 上記の割合で添加して下さい。

## 〔保存上の注意〕

湿気に注意し、遮光して密閉保存をして下さい。



株式会社養日化学研究所  
 愛知県名古屋市守山区町北9番25号  
 電話 052-791-2084

代理店

[ ビタミン・ミネラルの欠乏症 ]

ビタミン	欠乏症
ビタミンA	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夜盲症。</li> <li>●眼に障害がおこり2次的に細菌の感染を受けやすい。</li> <li>●乾性眼炎（牛では涙を多く出す様な症状、鶏では涙腺の分泌がとまる。）</li> <li>●表皮組織の角化。</li> </ul> 眼、呼吸器、消化器、生殖器等の病気にかかりやすくなる。 鶏＝産卵が低下、孵化率が悪化。 牛＝繁殖能力が衰える。
ビタミンD	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クル病。</li> <li>●骨軟症（カルシウムとリンの比率に関係する）。</li> </ul> ※過給の害。 各種の臓器にカルシウムの沈着を起す、臓器や組織に病的変化が起こる。
酢酸dl-α-トコフェロール（ビタミンE）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生殖能力を失う（胎児の死亡、睾丸の組織が破壊され退化）。</li> <li>●子めんようにおける筋肉の変化。</li> <li>●雛＝栄養性脳軟化症、滲出性素質。</li> </ul>
メソコバラミン硫酸水素ナトリウム（ビタミンK <sub>3</sub> ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●血液中のプロスロンビン量の低下</li> <li>●血液の凝固に長時間を要する。</li> </ul> 欠乏症は家禽に起り一般家畜には欠乏症は少ない。
硫酸チアミン（ビタミンB <sub>1</sub> ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●炭水化物の代謝に支障をきたす。</li> </ul> 心臓の障害、消化器の障害、食欲の減退。 人間＝脚気。 鳥類＝神経炎、食欲の減退、衰弱、消化不良および痙攣。 豚＝食欲の減退、体重の減少、嘔吐、体温の低下、生殖作用の障害。
リボフラビン（ビタミンB <sub>2</sub> ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●成長率の低下、飼料の利用率の低下。</li> </ul> 雛＝脚弱症、下痢、産卵鶏＝産卵率の低下、孵化率悪化、豚＝脚の麻痺、皮膚炎、白内障、反芻動物＝体内で合成されるので欠乏症はおこらない。
塩酸ピリドキシン（ビタミンB <sub>6</sub> ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鶏＝異常な興奮、痙攣を起し衰弱。</li> <li>●雛＝成長が悪くなり、食欲が減退。</li> <li>●仔豚＝貧血と成長低下、神経障害。</li> </ul> 反芻動物＝欠乏症はおこらない。
シアノコバラミン（ビタミンB <sub>12</sub> ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●悪性貧血。</li> <li>●飼料の蛋白質の生物価の低下。</li> <li>●孵化率の低下。</li> <li>●雛の成長低下。</li> <li>●反芻動物では体内で合成される。</li> </ul>
ニコチン酸アミド	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ペラグラ</li> </ul> 雛＝成長が衰える、口腔の障害、羽毛の生え方が悪化、皮膚炎。 豚＝体重の低下、下痢、嘔吐、皮膚炎。 反芻動物＝第一胃内でニコチン酸が合成されるので欠乏症はおこらない。
パントテン酸カルシウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雛＝成長の低下、羽毛の生え方が悪化、皮膚炎、肝臓の異常。</li> </ul> 成鶏＝孵化率の低下。 豚＝皮膚の汚れ、毛の減少、成長の低下、歩行困難、消化器の障害。
葉酸	<ul style="list-style-type: none"> <li>●栄養性貧血</li> </ul> 豚＝成長が衰える。 鶏＝羽毛の発育悪化、血球中のヘモグロビン量の減少、貧血。 反芻動物＝第一胃内で合成するので欠乏はおこらない。
塩化コリン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●脂肪性肝臓</li> </ul>
ミネラル	欠乏症
硫酸鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>●栄養性貧血。仔豚、産卵鶏に起こり易い。</li> </ul>
硫酸銅	<ul style="list-style-type: none"> <li>●貧血、成長不振、不妊。</li> </ul>
炭酸亜鉛	<ul style="list-style-type: none"> <li>●成長障害、毛の発生不良、不全角化症。</li> </ul>
炭酸マンガソ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鶏＝ペローシス：発育、産卵、卵殻、孵化率に影響。</li> </ul> 牛豚＝繁殖力の低下。
硫酸コバルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食欲減退、異嚙、反芻停止、くわず症。</li> </ul>
ヨウ素酸カルシウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●甲状腺腫、代謝、発育の低下、妊畜は死産または虚弱な子を産む、豚＝被毛が発達しない。</li> </ul>